

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	精神医療センター（地方独立 行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院岩出山分院	20
-	がんセンター（地方独立行政 法人宮城県立病院機構）	3	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	21
-	こども病院（地方独立行政法 人宮城県立こども病院）	4	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	22
仙台市	市立病院	5	川崎町	国民健康保険川崎病院	23
石巻市	石巻市立病院	6	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	24
石巻市	石巻市立牡鹿病院	7	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	25
塩竈市	塩竈市立病院	8	美里町	美里町立南郷病院	26
気仙沼市	気仙沼市立病院	9	女川町	女川町立病院	27
気仙沼市	気仙沼市立本吉病院	10	南三陸町	南三陸病院	28
白石市	公立刈田総合病院	11	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	29
登米市	登米市立登米市民病院	12	加美郡保健医療福祉行政 事務組合	公立加美病院	30
登米市	登米市立米谷病院	13	みやぎ県南中核病院企業 団	みやぎ県南中核病院	31
登米市	登米市立豊里病院	14			
栗原市	栗原市立栗原中央病院	15			
栗原市	栗原市立若柳病院	16			
栗原市	栗原市立栗駒病院	17			
大崎市	大崎市民病院	18			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	19			

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名					
病院名		精神医療センター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				-	
1 固定資産				-	
(1) 有形固定資産				-	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				-	
(1) 現金及び預金				-	
(2) 未収金及び未収収益				-	
(3) 貸倒引当金（ ）				-	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				-	
1 固定負債				-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				-	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				-	
(1) 長期前受金				-	
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）				-	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）				-	
資本合計				-	
1 資本金				-	
2 剰余金				-	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-	
負債・資本合計				-	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額（ ）				-	
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	4,160				
1 経常収益	4,160				
(1) 医業収益	-				
(うち修正医業収益)	-				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	-				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	4,160				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	-				
(うち長期前受金戻入)	-				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	4,160				
2 経常費用	4,160				
(1) 医業費用	-				
職員給与費	-	-	58.7	104.5	
材料費	-	-	26.9	9.7	
(うち薬品費)	-	-	14.8	6.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	1.6	
減価償却費	-	-	8.5	12.8	
経費	-	-	21.5	34.3	
(うち委託料)	-	-	11.5	15.4	
研究研修費	-				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	4,160				
(うち支払利息)	4,160	-	0.9	2.2	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-			
	純損益	-			
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.0		96.5	98.6	
医業収支比率	-		86.0	61.2	
修正医業収支比率	-		83.2	58.7	
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	34.5	
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	57.7	
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	33.3	
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	64.6	

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名					
病院名		がんセンター（地方独立行政法人宮城県立病院機構）			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数（％・日）					
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-	

貸借対照表（千円）				
区分				決算額
資産合計				-
1 固定資産				-
（1）有形固定資産				-
（2）無形固定資産				-
（3）投資その他の資産				-
2 流動資産				-
（1）現金及び預金				-
（2）未収金及び未収収益				-
（3）貸倒引当金（ ）				-
（4）貯蔵品				-
3 繰延資産				-
負債合計				-
1 固定負債				-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債				-
（2）その他の企業債				-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-
（4）その他の長期借入金				-
（5）引当金				-
（6）リース債務				-
2 流動負債				-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債				-
（2）その他の企業債				-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-
（4）その他の長期借入金				-
（5）引当金				-
（6）リース債務				-
（7）一時借入金				-
（8）未払金及び未払費用				-
（9）前受金及び前受収益				-
3 繰延収益				-
（1）長期前受金				-
（2）長期前受金収益化累計額（ ）				-
（3）繰延運営権対価				-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（ ）				-
（5）運営権者更新投資				-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（ ）				-
資本合計				-
1 資本金				-
2 剰余金				-
（1）資本剰余金				-
（2）利益剰余金				-
負債・資本合計				-
不良債務				-
実質資金不足額				-
資本不足額（ ）				-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）				-
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。				
---	--	--	--	--

設立団体の状況		
人口(人)		2,301,996
決算規模(千円)		1,008,373,713
標準財政規模(千円)		484,916,321
財政力指数		0.58832
経常収支比率(%)		96.7
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	135.3

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：				
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。				

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名
宮城県

市町村・組合名

子ども病院（地方独立行政法人宮城県立子ども病院）

施設及び業務概況等

法適用区分

病院区分

建物面積

診療科数

許可公営企業

DPC対象病院

特殊診療機能

不採算地区病院

不採算地区中核病院

指定病院の状況

看護配置

経営形態

類似区分

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	63,374			
1 経常収益	63,374			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	63,374			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	63,374			
2 経常費用	63,374			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	-	-	8.5	10.3
経費	-	-	21.5	29.4
(うち委託料)	-	-	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	63,374			
(うち支払利息)	63,374	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.4
医業収支比率	-		86.0	79.1
修正医業収支比率	-		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	79.2

備考:

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

特殊診療機能欄

指定病院の状況欄

地域医療支援病院

特定機能病院

特定機能病院

輪番制病院

ド...人間ドック

透...人工透析

I...ICU・CCU

未...NICU・未熟児室

訓...運動機能訓練室

ガ...ガン（放射線）診療

救...救急告示病院

臨...臨床研修病院

が...がん診療連携拠点病院

感...感染症指定医療機関

へ...へき地医療拠点病院

災...災害拠点病院

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

貸借対照表

(千円)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（）	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（）	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（）	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

設立団体の状況

人口(人)

2,301,996

決算規模(千円)

1,008,373,713

標準財政規模(千円)

484,916,321

財政力指数

0.58832

経常収支比率(%)

96.7

健全化

実質赤字比率(%)

-

連結実質赤字比率(%)

-

判断比率

実質公債費比率(%)

10.3

将来負担比率(%)

135.3

他会計からの繰入状況(千円)

区分

基準額

実繰入額

収益勘定繰入

-

資本勘定繰入

-

計

-

-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度

不良債務額(千円)

不良債務比率(%)

令和5年度

-

-

令和4年度

-

-

令和3年度

-

-

資金不足等の状況

累積欠損金比率(%)

-

健全化法上の資金不足額(千円)

-

健全化法上の資金不足比率(%)

-

地財法上の資金不足額(千円)

-

地財法上の資金不足比率(%)

-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		仙台市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,286㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感災地		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	467	82.4	80.0	73.8	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	50	28.8	21.2	10.8	
感染症	8	59.8	92.0	98.0	
計	525	76.9	74.6	68.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	9.4	9.1	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				35,845,261	
1 固定資産				24,245,872	
(1) 有形固定資産				23,635,319	
(2) 無形固定資産				610,553	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				11,599,389	
(1) 現金及び預金				8,576,560	
(2) 未収金及び未収収益				2,929,193	
(3) 貸倒引当金()				5,383	
(4) 貯蔵品				97,061	
3 繰延資産				-	
負債合計				27,173,902	
1 固定負債				21,894,718	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				18,863,044	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				3,031,674	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				3,987,756	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,372,604	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				585,962	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				2,012,408	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,291,428	
(1) 長期前受金				2,448,682	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,157,254	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				8,671,359	
1 資本金				16,973,626	
2 剰余金				-8,302,267	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-8,302,267	
負債・資本合計				35,845,261	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,929,780	1,977,481
資本勘定繰入	692,734	900,195
計	2,622,514	2,877,676

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		石巻市			
病院名		石巻市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,921㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救感輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	140	79.0	71.1	73.5
療養	40	84.8	79.4	79.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	80.3	72.9	74.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	15.3	16.0

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		10,971,109		
1 固定資産		9,691,846		
(1) 有形固定資産		9,691,846		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		1,279,263		
(1) 現金及び預金		602,509		
(2) 未収金及び未収収益		639,809		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		36,945		
3 繰延資産		-		
負債合計		10,160,929		
1 固定負債		716,298		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		653,209		
(2) その他の企業債		60,000		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		3,089		
2 流動負債		650,169		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		88,355		
(2) その他の企業債		82,000		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		150,222		
(6) リース債務		5,200		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		323,330		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		8,794,462		
(1) 長期前受金		16,461,873		
(2) 長期前受金収益化累計額()		7,667,411		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		810,180		
1 資本金		1,607,739		
2 剰余金		-797,559		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-797,559		
負債・資本合計		10,971,109		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	521,019	747,732
資本勘定繰入	29,155	58,310
計	550,174	806,042

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	23.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,289,781			
1 経常収益	4,205,655			
(1) 医業収益	3,026,045			
(うち修正医業収益)	2,841,343			
入院収益	2,090,233			
外来収益	633,300			
診療収入計	2,723,533			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	302,512			
(うち他会計負担金)	184,702			
(2) 医業外収益	1,179,610			
(うち国・都道府県補助金)	37,846			
(うち他会計補助・負担金)	481,030			
(うち長期前受金戻入)	608,920			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	84,126			
(うち他会計繰入金)	82,000			
総費用	4,507,315			
2 経常費用	4,501,599			
(1) 医業費用	4,345,580			
職員給与費	2,059,554	68.1	58.7	67.7
材料費	540,362	17.9	26.9	18.3
(うち薬品費)	176,046	5.8	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	364,316	12.0	11.7	9.1
減価償却費	654,222	21.6	8.5	10.3
経費	1,078,042	35.6	21.5	29.4
(うち委託料)	624,472	20.6	11.5	13.6
研究研修費	11,503			
資産減耗費	1,897			
(2) 医業外費用	156,019			
(うち支払利息)	2,775	0.1	0.9	1.1
(3) 特別損失	5,716			
損益	経常損益	-295,944		
	純損益	-217,534		
累積欠損金		404,270		
経常収支比率		93.4	96.5	95.4
医業収支比率		69.6	86.0	79.1
修正医業収支比率		65.4	83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率		15.8	11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率		22.0	13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率		17.4	11.5	17.1
実質収益対経常費用比率		78.6	85.4	79.2

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		石巻市			
病院名		石巻市立牡鹿病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,588㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	25	47.6	35.9	44.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	47.6	35.9	44.3
平均在院日数（一般病床のみ）		29.3	27.2	28.3

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		10,971,109		
1 固定資産		9,691,846		
(1) 有形固定資産		9,691,846		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		1,279,263		
(1) 現金及び預金		602,509		
(2) 未収金及び未収収益		639,809		
(3) 貸倒引当金（ ）		-		
(4) 貯蔵品		36,945		
3 繰延資産		-		
負債合計		10,160,929		
1 固定負債		716,298		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		653,209		
(2) その他の企業債		60,000		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		3,089		
2 流動負債		650,169		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		88,355		
(2) その他の企業債		82,000		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		150,222		
(6) リース債務		5,200		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		323,330		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		8,794,462		
(1) 長期前受金		16,461,873		
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		7,667,411		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-		
資本合計		810,180		
1 資本金		1,607,739		
2 剰余金		-797,559		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-797,559		
負債・資本合計		10,971,109		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		-		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。				
---	--	--	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	140,151	
決算規模(千円)	85,767,939	
標準財政規模(千円)	40,021,657	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	100.9	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	14.7

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	196,215	299,574
資本勘定繰入	6,781	13,562
計	202,996	313,136

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。					

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		塩竈市			
病院名		塩竈市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,495㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	161	70.9	72.2	73.0	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	161	70.9	72.2	73.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	14.0	13.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				2,252,822	
1 固定資産				1,563,508	
(1) 有形固定資産				1,563,362	
(2) 無形固定資産				146	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				689,314	
(1) 現金及び預金				293,466	
(2) 未収金及び未収収益				388,999	
(3) 貸倒引当金()				3,105	
(4) 貯蔵品				9,954	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,851,854	
1 固定負債				767,515	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				767,515	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				530,863	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				153,274	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				80,000	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				295,694	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				553,476	
(1) 長期前受金				1,188,062	
(2) 長期前受金収益化累計額()				634,586	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				400,968	
1 資本金				3,593,643	
2 剰余金				-3,192,675	
(1) 資本剰余金				11,903	
(2) 利益剰余金				-3,204,578	
負債・資本合計				2,252,822	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	361,479	396,562
資本勘定繰入	79,440	86,219
計	440,919	482,781

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	123.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		気仙沼市			
病院名		気仙沼市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,908㎡	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	336	78.0	71.8	70.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	31.8	30.8	43.4
計	340	77.4	71.3	70.5
平均在院日数（一般病床のみ）		12.9	11.7	12.0

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		19,585,038		
1 固定資産		15,070,046		
(1) 有形固定資産		13,838,917		
(2) 無形固定資産		11,378		
(3) 投資その他の資産		1,219,751		
2 流動資産		4,514,992		
(1) 現金及び預金		3,074,065		
(2) 未収金及び未収収益		1,278,550		
(3) 貸倒引当金（ ）		3,228		
(4) 貯蔵品		163,505		
3 繰延資産		-		
負債合計		15,014,591		
1 固定負債		2,863,848		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		2,797,333		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		27,823		
(6) リース債務		38,692		
2 流動負債		1,114,741		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		127,638		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		367,821		
(6) リース債務		13,609		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		598,225		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		11,036,002		
(1) 長期前受金		17,936,043		
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		6,900,041		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-		
資本合計		4,570,447		
1 資本金		10,841,194		
2 剰余金		-6,270,747		
(1) 資本剰余金		162,800		
(2) 利益剰余金		-6,433,547		
負債・資本合計		19,585,038		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		-		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。				
---	--	--	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	61,147	
決算規模(千円)	48,285,760	
標準財政規模(千円)	18,436,041	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	103.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,074,486	1,080,515
資本勘定繰入	116,808	133,608
計	1,191,294	1,214,123

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。				
---	--	--	--	--

特殊診療機能欄 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 末…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		気仙沼市			
病院名		気仙沼市立本吉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	1,902㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	38	42.9	50.4	53.2	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	38	42.9	50.4	53.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		22.8	23.0	22.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				19,585,038	
1 固定資産				15,070,046	
(1) 有形固定資産				13,838,917	
(2) 無形固定資産				11,378	
(3) 投資その他の資産				1,219,751	
2 流動資産				4,514,992	
(1) 現金及び預金				3,074,065	
(2) 未収金及び未収収益				1,278,550	
(3) 貸倒引当金()				3,228	
(4) 貯蔵品				163,505	
3 繰延資産				-	
負債合計				15,014,591	
1 固定負債				2,863,848	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,797,333	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				27,823	
(6) リース債務				38,692	
2 流動負債				1,114,741	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				127,638	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				367,821	
(6) リース債務				13,609	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				598,225	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				11,036,002	
(1) 長期前受金				17,936,043	
(2) 長期前受金収益化累計額()				6,900,041	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				4,570,447	
1 資本金				10,841,194	
2 剰余金				-6,270,747	
(1) 資本剰余金				162,800	
(2) 利益剰余金				-6,433,547	
負債・資本合計				19,585,038	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	248,577	248,577
資本勘定繰入	24,076	10,287
計	272,653	258,864

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		白石市			
病院名		公立刈田総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,164㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救災輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	199	56.9	43.1	44.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	17.3
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	87.8	28.6
計	199	56.9	43.1	43.9
平均在院日数(一般病床のみ)		23.9	23.8	19.9

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		5,046,895		
1 固定資産		4,607,164		
(1) 有形固定資産		4,605,135		
(2) 無形固定資産		2,029		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		439,731		
(1) 現金及び預金		359,624		
(2) 未収金及び未収収益		36,607		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		6,145,602		
1 固定負債		4,971,321		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		3,880,914		
(2) その他の企業債		1,090,407		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		687,454		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		538,756		
(2) その他の企業債		103,669		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		2,995		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		8,105		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		486,827		
(1) 長期前受金		1,237,863		
(2) 長期前受金収益化累計額()		751,036		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-1,098,707		
1 資本金		16,041,968		
2 剰余金		-17,140,675		
(1) 資本剰余金		1,050		
(2) 利益剰余金		-17,141,725		
負債・資本合計		5,046,895		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		1,098,707		
資本不足額(繰延収益控除後)()		611,880		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)			
区分	基準額	実繰入額	
収益勘定繰入	279,772	893,873	
資本勘定繰入	345,157	1,195,190	
計	624,929	2,089,063	

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12294.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	842,874
地財法上の資金不足比率(%)	603.5

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	965,460			
1 経常収益	963,989			
(1) 医業収益	139,655			
(うち修正医業収益)	2,780			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	139,655			
(うち他会計負担金)	136,875			
(2) 医業外収益	824,334			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	756,998			
(うち長期前受金戻入)	16,921			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,471			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	949,586			
2 経常費用	924,293			
(1) 医業費用	817,178			
職員給与費	34,420	24.6	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	242,345	173.5	8.5	10.3
経費	485,849	347.9	21.5	29.4
(うち委託料)	96,353	69.0	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	54,564			
(2) 医業外費用	107,115			
(うち支払利息)	97,167	69.6	0.9	1.1
(3) 特別損失	25,293			
損益	39,696			
純損益	15,874			
累積欠損金	17,170,465			
経常収支比率	104.3		96.5	95.4
医業収支比率	17.1		86.0	79.1
修正医業収支比率	0.3		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	92.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	640.1		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	92.6		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	7.6		85.4	79.2

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		登米市			
病院名		登米市立登米市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,796㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨災輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	198	76.0	74.6	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	76.0	74.6	77.6
平均在院日数（一般病床のみ）		18.5	17.8	17.8

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		10,490,704		
1 固定資産		8,851,428		
(1) 有形固定資産		8,571,049		
(2) 無形固定資産		1,288		
(3) 投資その他の資産		279,091		
2 流動資産		1,639,276		
(1) 現金及び預金		741,376		
(2) 未収金及び未収収益		880,939		
(3) 貸倒引当金（ ）		8,011		
(4) 貯蔵品		24,912		
3 繰延資産		-		
負債合計		9,971,150		
1 固定負債		7,186,594		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		4,422,088		
(2) その他の企業債		170,762		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		300,000		
(5) 引当金		2,293,744		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		1,442,287		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		664,979		
(2) その他の企業債		15,338		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		271,064		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		367,332		
(9) 前受金及び前受収益		99,759		
3 繰延収益		1,342,269		
(1) 長期前受金		3,577,597		
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		2,235,328		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-		
資本合計		519,554		
1 資本金		16,225,705		
2 剰余金		-15,706,151		
(1) 資本剰余金		118,558		
(2) 利益剰余金		-15,824,709		
負債・資本合計		10,490,704		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		-		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。				
---	--	--	--	--

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	834,014	834,014
資本勘定繰入	309,081	461,293
計	1,143,095	1,295,307

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	262.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		登米市			
病院名		登米市立米谷病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,823㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	40	57.3	55.5	59.9	
療養	50	67.6	63.0	63.4	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	90	63.0	59.7	61.9	
平均在院日数(一般病床のみ)		22.2	22.9	22.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				10,490,704	
1 固定資産				8,851,428	
(1) 有形固定資産				8,571,049	
(2) 無形固定資産				1,288	
(3) 投資その他の資産				279,091	
2 流動資産				1,639,276	
(1) 現金及び預金				741,376	
(2) 未収金及び未収収益				880,939	
(3) 貸倒引当金()				8,011	
(4) 貯蔵品				24,912	
3 繰延資産				-	
負債合計				9,971,150	
1 固定負債				7,186,594	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,422,088	
(2) その他の企業債				170,762	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				300,000	
(5) 引当金				2,293,744	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,442,287	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				664,979	
(2) その他の企業債				15,338	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				271,064	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				367,332	
(9) 前受金及び前受収益				99,759	
3 繰延収益				1,342,269	
(1) 長期前受金				3,577,597	
(2) 長期前受金収益化累計額()				2,235,328	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				519,554	
1 資本金				16,225,705	
2 剰余金				-15,706,151	
(1) 資本剰余金				118,558	
(2) 利益剰余金				-15,824,709	
負債・資本合計				10,490,704	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	267,395	267,395
資本勘定繰入	143,584	287,168
計	410,979	554,563

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	262.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		登米市			
病院名		登米市立豊里病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,119㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	60	58.7	53.0	62.1	
療養	30	89.4	97.0	98.3	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	90	68.9	67.6	74.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		28.6	28.8	28.8	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				10,490,704	
1 固定資産				8,851,428	
(1) 有形固定資産				8,571,049	
(2) 無形固定資産				1,288	
(3) 投資その他の資産				279,091	
2 流動資産				1,639,276	
(1) 現金及び預金				741,376	
(2) 未収金及び未収収益				880,939	
(3) 貸倒引当金()				8,011	
(4) 貯蔵品				24,912	
3 繰延資産				-	
負債合計				9,971,150	
1 固定負債				7,186,594	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,422,088	
(2) その他の企業債				170,762	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				300,000	
(5) 引当金				2,293,744	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,442,287	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				664,979	
(2) その他の企業債				15,338	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				271,064	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				367,332	
(9) 前受金及び前受収益				99,759	
3 繰延収益				1,342,269	
(1) 長期前受金				3,577,597	
(2) 長期前受金収益化累計額()				2,235,328	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				519,554	
1 資本金				16,225,705	
2 剰余金				-15,706,151	
(1) 資本剰余金				118,558	
(2) 利益剰余金				-15,824,709	
負債・資本合計				10,490,704	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,980	214,980
資本勘定繰入	29,469	57,301
計	244,449	272,281

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	262.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		栗原市			
病院名		栗原市立栗原中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,277㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	269	65.5	67.6	67.4	
療養	15	-	-	-	
結核	28	19.9	29.7	28.0	
精神	-	-	-	-	
感染症	1	-	-	-	
計	313	58.0	60.7	60.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	17.8	17.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				12,755,635	
1 固定資産				10,937,106	
(1) 有形固定資産				10,909,413	
(2) 無形固定資産				786	
(3) 投資その他の資産				26,907	
2 流動資産				1,818,529	
(1) 現金及び預金				770,589	
(2) 未収金及び未収収益				986,913	
(3) 貸倒引当金()				827	
(4) 貯蔵品				61,854	
3 繰延資産				-	
負債合計				9,287,611	
1 固定負債				7,299,602	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				6,299,602	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				1,000,000	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,683,312	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				930,932	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				305,090	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				444,571	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				304,697	
(1) 長期前受金				708,824	
(2) 長期前受金収益化累計額()				404,127	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				3,468,024	
1 資本金				13,168,930	
2 剰余金				-9,700,906	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-9,700,906	
負債・資本合計				12,755,635	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	790,062	790,062
資本勘定繰入	385,261	385,261
計	1,175,323	1,175,323

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		栗原市			
病院名		栗原市立若柳病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,581㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	45	68.9	59.6	67.8
療養	30	72.4	70.8	74.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	75	70.3	63.4	70.0
平均在院日数(一般病床のみ)		25.3	26.5	22.1

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		12,755,635		
1 固定資産		10,937,106		
(1) 有形固定資産		10,909,413		
(2) 無形固定資産		786		
(3) 投資その他の資産		26,907		
2 流動資産		1,818,529		
(1) 現金及び預金		770,589		
(2) 未収金及び未収収益		986,913		
(3) 貸倒引当金()		827		
(4) 貯蔵品		61,854		
3 繰延資産		-		
負債合計		9,287,611		
1 固定負債		7,299,602		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		6,299,602		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		1,000,000		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		1,683,312		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		930,932		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		305,090		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		444,571		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		304,697		
(1) 長期前受金		708,824		
(2) 長期前受金収益化累計額()		404,127		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		3,468,024		
1 資本金		13,168,930		
2 剰余金		-9,700,906		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-9,700,906		
負債・資本合計		12,755,635		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	299,427	299,427
資本勘定繰入	149,371	149,371
計	448,798	448,798

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	150.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		栗原市			
病院名		栗原市立栗駒病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,954㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	45	90.2	92.2	90.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	90.2	92.2	90.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		12,755,635		
1	固定資産	10,937,106		
	(1)有形固定資産	10,909,413		
	(2)無形固定資産	786		
	(3)投資その他の資産	26,907		
2	流動資産	1,818,529		
	(1)現金及び預金	770,589		
	(2)未収金及び未収収益	986,913		
	(3)貸倒引当金()	827		
	(4)貯蔵品	61,854		
3	繰延資産	-		
負債合計		9,287,611		
1	固定負債	7,299,602		
	(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,299,602		
	(2)その他の企業債	-		
	(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4)その他の長期借入金	1,000,000		
	(5)引当金	-		
	(6)リース債務	-		
2	流動負債	1,683,312		
	(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債	930,932		
	(2)その他の企業債	-		
	(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-		
	(4)その他の長期借入金	-		
	(5)引当金	305,090		
	(6)リース債務	-		
	(7)一時借入金	-		
	(8)未払金及び未払費用	444,571		
	(9)前受金及び前受収益	-		
3	繰延収益	304,697		
	(1)長期前受金	708,824		
	(2)長期前受金収益化累計額()	404,127		
	(3)繰延運営権対価	-		
	(4)繰延運営権対価収益化累計額()	-		
	(5)運営権者更新投資	-		
	(6)運営権者更新投資収益化累計額()	-		
資本合計		3,468,024		
1	資本金	13,168,930		
2	剰余金	-9,700,906		
	(1)資本剰余金	-		
	(2)利益剰余金	-9,700,906		
負債・資本合計		12,755,635		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				
---	--	--	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	44,477,405	
標準財政規模(千円)	26,923,606	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	17.1

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	243,236	243,236
資本勘定繰入	28,430	28,430
計	271,666	271,666

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。				
---	--	--	--	--

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		大崎市			
病院名		大崎市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	50,178㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	43	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	494	81.2	80.2	79.6	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	6	48.1	58.4	93.7	
計	500	80.8	79.9	79.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.9	10.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				32,441,964	
1 固定資産				22,662,339	
(1) 有形固定資産				21,618,071	
(2) 無形固定資産				154,580	
(3) 投資その他の資産				889,688	
2 流動資産				9,779,625	
(1) 現金及び預金				5,514,540	
(2) 未収金及び未収収益				4,060,717	
(3) 貸倒引当金()				11,467	
(4) 貯蔵品				215,835	
3 繰延資産				-	
負債合計				23,602,941	
1 固定負債				14,201,900	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				13,441,311	
(2) その他の企業債				12,600	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				55,422	
(6) リース債務				692,567	
2 流動負債				4,309,878	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,226,736	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				689,395	
(6) リース債務				120,992	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				2,119,986	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				5,091,163	
(1) 長期前受金				11,800,065	
(2) 長期前受金収益化累計額()				6,708,902	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				8,839,023	
1 資本金				11,069,543	
2 剰余金				-2,230,520	
(1) 資本剰余金				110,294	
(2) 利益剰余金				-2,340,814	
負債・資本合計				32,441,964	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	67,487,547	
標準財政規模(千円)	37,367,350	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	65.9

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,841,373	1,846,373
資本勘定繰入	567,069	567,069
計	2,408,442	2,413,442

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		大崎市			
病院名		大崎市民病院鳴子温泉分院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,367㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	68.3	61.4	59.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	68.3	61.4	59.0
平均在院日数（一般病床のみ）		24.1	24.1	14.7

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		32,441,964		
1 固定資産		22,662,339		
(1) 有形固定資産		21,618,071		
(2) 無形固定資産		154,580		
(3) 投資その他の資産		889,688		
2 流動資産		9,779,625		
(1) 現金及び預金		5,514,540		
(2) 未収金及び未収収益		4,060,717		
(3) 貸倒引当金（ ）		11,467		
(4) 貯蔵品		215,835		
3 繰延資産		-		
負債合計		23,602,941		
1 固定負債		14,201,900		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		13,441,311		
(2) その他の企業債		12,600		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		55,422		
(6) リース債務		692,567		
2 流動負債		4,309,878		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,226,736		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		689,395		
(6) リース債務		120,992		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		2,119,986		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		5,091,163		
(1) 長期前受金		11,800,065		
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		6,708,902		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-		
資本合計		8,839,023		
1 資本金		11,069,543		
2 剰余金		-2,230,520		
(1) 資本剰余金		110,294		
(2) 利益剰余金		-2,340,814		
負債・資本合計		32,441,964		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		-		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考		当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	67,487,547	
標準財政規模(千円)	37,367,350	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(％)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	-
	実質公債費比率(％)	7.3
	将来負担比率(％)	65.9

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	247,878	247,878
資本勘定繰入	27,780	27,780
計	275,658	275,658

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	9.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書（千円・％）					
区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益		754,113			
1 経常収益		750,480			
(1) 医業収益		485,699			
(うち修正医業収益)		445,877			
入院収益		338,714			
外来収益		92,594			
診療収入計		431,308			
繰延運営権対価収益		-			
運営権者更新投資収益		-			
その他医業収益		54,391			
(うち他会計負担金)		39,822			
(2) 医業外収益		264,781			
(うち国・都道府県補助金)		9,970			
(うち他会計補助・負担金)		208,056			
(うち長期前受金戻入)		21,680			
(うち資本費繰入収益)		-			
(3) 特別利益		3,633			
(うち他会計繰入金)		-			
総費用		942,036			
2 経常費用		941,658			
(1) 医業費用		905,384			
職員給与費		511,156	105.2	58.7	89.5
材料費		31,539	6.5	26.9	13.4
(うち薬品費)		14,048	2.9	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)		17,491	3.6	11.7	5.5
減価償却費		131,198	27.0	8.5	14.0
経費		230,613	47.5	21.5	46.3
(うち委託料)		125,966	25.9	11.5	22.2
研究研修費		556			
資産減耗費		322			
(2) 医業外費用		36,274			
(うち支払利息)		10,568	2.2	0.9	1.0
(3) 特別損失		378			
損益	経常損益	-191,178			
	純損益	-187,923			
累積欠損金		2,105,271			
経常収支比率		79.7		96.5	97.3
医業収支比率		53.6		86.0	60.9
修正医業収支比率		49.2		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率		33.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率		51.0		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率		32.9		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率		53.4		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		大崎市			
病院名		大崎市民病院岩出山分院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,496㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	40	85.0	87.4	83.5	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	40	85.0	87.4	83.5	
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	19.2	14.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				32,441,964	
1 固定資産				22,662,339	
(1) 有形固定資産				21,618,071	
(2) 無形固定資産				154,580	
(3) 投資その他の資産				889,688	
2 流動資産				9,779,625	
(1) 現金及び預金				5,514,540	
(2) 未収金及び未収収益				4,060,717	
(3) 貸倒引当金()				11,467	
(4) 貯蔵品				215,835	
3 繰延資産				-	
負債合計				23,602,941	
1 固定負債				14,201,900	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				13,441,311	
(2) その他の企業債				12,600	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				55,422	
(6) リース債務				692,567	
2 流動負債				4,309,878	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,226,736	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				689,395	
(6) リース債務				120,992	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				2,119,986	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				5,091,163	
(1) 長期前受金				11,800,065	
(2) 長期前受金収益化累計額()				6,708,902	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				8,839,023	
1 資本金				11,069,543	
2 剰余金				-2,230,520	
(1) 資本金剰余金				110,294	
(2) 利益剰余金				-2,340,814	
負債・資本合計				32,441,964	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	67,487,547	
標準財政規模(千円)	37,367,350	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	65.9

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	115,896	115,896
資本勘定繰入	51,466	51,466
計	167,362	167,362

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	822,152				
1 経常収益	809,990				
(1) 医業収益	654,100				
(うち修正医業収益)	617,749				
入院収益	429,516				
外来収益	159,842				
診療収入計	589,358				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	64,742				
(うち他会計負担金)	36,351				
(2) 医業外収益	155,890				
(うち国・都道府県補助金)	3,235				
(うち他会計補助・負担金)	79,545				
(うち長期前受金戻入)	38,198				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	12,162				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	857,676				
2 経常費用	857,358				
(1) 医業費用	833,472				
職員給与費	491,478	75.1	58.7	89.5	
材料費	51,835	7.9	26.9	13.4	
(うち薬品費)	18,265	2.8	14.8	7.2	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,570	5.1	11.7	5.5	
減価償却費	52,653	8.0	8.5	14.0	
経費	235,867	36.1	21.5	46.3	
(うち委託料)	122,805	18.8	11.5	22.2	
研究研修費	1,169				
資産減耗費	470				
(2) 医業外費用	23,886				
(うち支払利息)	2,801	0.4	0.9	1.0	
(3) 特別損失	318				
損益	経常損益	-47,368			
	純損益	-35,524			
累積欠損金	627,229				
経常収支比率	94.5		96.5	97.3	
医業収支比率	78.5		86.0	60.9	
修正医業収支比率	74.1		83.2	56.2	
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		11.5	35.0	
他会計繰入金対医業収益比率	17.7		13.7	59.4	
他会計繰入金対総収益比率	14.1		11.5	35.0	
実質収益対経常費用比率	81.0		85.4	63.3	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		大崎市			
病院名		大崎市民病院鹿島台分院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,728㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	76.5	76.6	75.8
療養	18	64.5	88.8	84.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	72.8	80.3	78.4
平均在院日数(一般病床のみ)		27.8	28.5	24.9

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		32,441,964		
1 固定資産		22,662,339		
(1) 有形固定資産		21,618,071		
(2) 無形固定資産		154,580		
(3) 投資その他の資産		889,688		
2 流動資産		9,779,625		
(1) 現金及び預金		5,514,540		
(2) 未収金及び未収収益		4,060,717		
(3) 貸倒引当金()		11,467		
(4) 貯蔵品		215,835		
3 繰延資産		-		
負債合計		23,602,941		
1 固定負債		14,201,900		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		13,441,311		
(2) その他の企業債		12,600		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		55,422		
(6) リース債務		692,567		
2 流動負債		4,309,878		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,226,736		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		689,395		
(6) リース債務		120,992		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		2,119,986		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		5,091,163		
(1) 長期前受金		11,800,065		
(2) 長期前受金収益化累計額()		6,708,902		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		8,839,023		
1 資本金		11,069,543		
2 剰余金		-2,230,520		
(1) 資本剰余金		110,294		
(2) 利益剰余金		-2,340,814		
負債・資本合計		32,441,964		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				
---	--	--	--	--

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,270	142,270
資本勘定繰入	21,549	21,549
計	163,819	163,819

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	9.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		蔵王町			
病院名		蔵王町国民健康保険蔵王病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,084㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	10	41.9	49.4	63.7	
療養	26	45.7	39.6	37.6	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	36	44.6	42.3	44.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		28.4	32.8	32.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				349,548	
1 固定資産				247,285	
(1) 有形固定資産				246,872	
(2) 無形固定資産				413	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				102,263	
(1) 現金及び預金				44,591	
(2) 未収金及び未収収益				56,764	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				908	
3 繰延資産				-	
負債合計				232,429	
1 固定負債				102,794	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				48,737	
(2) その他の企業債				5,180	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				48,877	
2 流動負債				96,962	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				8,313	
(2) その他の企業債				620	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				17,016	
(6) リース債務				9,805	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				61,155	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				32,673	
(1) 長期前受金				88,999	
(2) 長期前受金収益化累計額()				56,326	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				117,119	
1 資本金				457,403	
2 剰余金				-340,284	
(1) 資本剰余金				6,751	
(2) 利益剰余金				-347,035	
負債・資本合計				349,548	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	139,604	274,801
資本勘定繰入	3,504	3,504
計	143,108	278,305

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	197.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:	「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
-----	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		川崎町			
病院名		国民健康保険川崎病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,631㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	30	73.5	75.8	70.6	
療養	28	84.8	87.3	74.9	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	58	79.0	81.4	72.7	
平均在院日数(一般病床のみ)		22.3	25.1	20.8	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				973,186	
1 固定資産				745,863	
(1) 有形固定資産				745,392	
(2) 無形固定資産				471	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				227,323	
(1) 現金及び預金				102,840	
(2) 未収金及び未収収益				121,342	
(3) 貸倒引当金()				450	
(4) 貯蔵品				3,591	
3 繰延資産				-	
負債合計				490,563	
1 固定負債				151,887	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				41,466	
(2) その他の企業債				61,386	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				49,035	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				152,412	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				72,685	
(2) その他の企業債				4,667	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				33,189	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				38,341	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				186,264	
(1) 長期前受金				532,949	
(2) 長期前受金収益化累計額()				346,685	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				482,623	
1 資本金				1,652,404	
2 剰余金				-1,169,781	
(1) 資本剰余金				80,311	
(2) 利益剰余金				-1,250,092	
負債・資本合計				973,186	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	296,120	296,120
資本勘定繰入	52,879	52,879
計	348,999	348,999

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	206.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		丸森町			
病院名		丸森町国民健康保険丸森病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,360㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	55	57.6	60.2	65.1	
療養	35	29.2	25.4	35.8	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	90	46.6	46.7	53.7	
平均在院日数(一般病床のみ)		27.6	28.2	26.4	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				1,740,634	
1 固定資産				1,406,565	
(1) 有形固定資産				1,406,503	
(2) 無形固定資産				62	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				334,069	
(1) 現金及び預金				191,894	
(2) 未収金及び未収収益				138,072	
(3) 貸倒引当金()				700	
(4) 貯蔵品				4,583	
3 繰延資産				-	
負債合計				749,451	
1 固定負債				375,397	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				352,152	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				21,486	
(6) リース債務				1,759	
2 流動負債				312,749	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				127,618	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				39,239	
(6) リース債務				2,111	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				141,149	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				61,305	
(1) 長期前受金				515,446	
(2) 長期前受金収益化累計額()				454,141	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				991,183	
1 資本金				1,251,668	
2 剰余金				-260,485	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-260,485	
負債・資本合計				1,740,634	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	280,618	218,026
資本勘定繰入	111,974	111,974
計	392,592	330,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		涌谷町			
病院名		涌谷町国民健康保険病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,569㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	60	92.5	60.6	70.2
療養	39	84.2	75.9	81.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	89.2	65.8	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	20.0	21.4

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,586,232		
1 固定資産		1,151,213		
(1) 有形固定資産		1,149,993		
(2) 無形固定資産		1,220		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		435,019		
(1) 現金及び預金		35,826		
(2) 未収金及び未収収益		387,123		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		12,001		
3 繰延資産		-		
負債合計		1,653,171		
1 固定負債		556,011		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		453,201		
(2) その他の企業債		84,389		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		18,421		
2 流動負債		619,376		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		82,402		
(2) その他の企業債		8,547		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		49,589		
(6) リース債務		6,591		
(7) 一時借入金		370,000		
(8) 未払金及び未払費用		102,247		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		477,784		
(1) 長期前受金		1,054,809		
(2) 長期前受金収益化累計額()		577,025		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-66,939		
1 資本金		1,468,843		
2 剰余金		-1,535,782		
(1) 資本剰余金		32,186		
(2) 利益剰余金		-1,567,968		
負債・資本合計		1,586,232		
不良債務		101,955		
実質資金不足額		101,955		
資本不足額()		66,939		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	265,700	265,700
資本勘定繰入	43,966	43,966
計	309,666	309,666

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	101,955	5.9
令和4年度	146,870	9.2
令和3年度	230,762	13.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	91.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	158,380
地財法上の資金不足比率(%)	9.1

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,095,809			
1 経常収益	2,095,809			
(1) 医業収益	1,722,764			
(うち修正医業収益)	1,636,004			
入院収益	858,369			
外来収益	664,263			
診療収入計	1,522,632			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	200,132			
(うち他会計負担金)	86,760			
(2) 医業外収益	373,045			
(うち国・都道府県補助金)	83,824			
(うち他会計補助・負担金)	178,940			
(うち長期前受金戻入)	77,289			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,087,925			
2 経常費用	2,024,024			
(1) 医業費用	1,936,508			
職員給与費	1,070,013	62.1	58.7	78.7
材料費	422,635	24.5	26.9	14.5
(うち薬品費)	330,697	19.2	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,714	4.3	11.7	6.1
減価償却費	89,829	5.2	8.5	11.8
経費	325,426	18.9	21.5	32.3
(うち委託料)	153,886	8.9	11.5	15.3
研究研修費	1,819			
資産減耗費	26,786			
(2) 医業外費用	87,516			
(うち支払利息)	8,051	0.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	63,901			
損益	71,785			
純損益	7,884			
累積欠損金	1,567,968			
経常収支比率	103.5		96.5	96.4
医業収支比率	89.0		86.0	72.4
修正医業収支比率	84.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.7		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	12.7		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	90.4		85.4	73.0

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		美里町			
病院名		美里町立南郷病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,899㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	50	61.6	69.1	70.7	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	50	61.6	69.1	70.7	
平均在院日数(一般病床のみ)		46.7	50.3	46.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				903,814	
1 固定資産				698,680	
(1)有形固定資産				698,680	
(2)無形固定資産				-	
(3)投資その他の資産				-	
2 流動資産				205,134	
(1)現金及び預金				117,917	
(2)未収金及び未収収益				84,485	
(3)貸倒引当金()				-	
(4)貯蔵品				2,632	
3 繰延資産				-	
負債合計				467,448	
1 固定負債				69,261	
(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債				69,261	
(2)その他の企業債				-	
(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4)その他の長期借入金				-	
(5)引当金				-	
(6)リース債務				-	
2 流動負債				120,190	
(1)建設改良費等の財源に充てるための企業債				64,580	
(2)その他の企業債				-	
(3)建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4)その他の長期借入金				-	
(5)引当金				24,695	
(6)リース債務				-	
(7)一時借入金				-	
(8)未払金及び未払費用				27,657	
(9)前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				277,997	
(1)長期前受金				560,174	
(2)長期前受金収益化累計額()				282,177	
(3)繰延運営権対価				-	
(4)繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5)運営権者更新投資				-	
(6)運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				436,366	
1 資本金				914,820	
2 剰余金				-478,454	
(1)資本金剰余金				-	
(2)利益剰余金				-478,454	
負債・資本合計				903,814	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	220,000	220,000
資本勘定繰入	52,422	52,422
計	272,422	272,422

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	103.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名

宮城県

市町村・組合名

女川町

病院名

女川町立病院

施設及び業務概況等

法適用区分

特殊診療機能

病院区分

不採算地区病院

建物面積

-㎡

不採算地区中核病院

診療科数

-

指定病院の状況

許可公営企業

看護配置

DPC対象病院

-

経営形態

直営

類似区分

50床以上～100床未満

特殊診療機能欄

指定病院の状況欄

地域医療支援病院

ド...人間ドック

透...人工透析

特...特定機能病院

I...ICU・CCU

未...NICU・未熟児室

輪...病院群輪番制病院

訓...運動機能訓練室

ガ...ガン（放射線）診療

感...感染症指定医療機関

が...がん診療連携拠点病院

へ...へき地医療拠点病院

災...災害拠点病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

-

-

-

-

療養

-

-

-

-

結核

-

-

-

-

精神

-

-

-

-

感染症

-

-

-

-

計

-

-

-

-

平均在院日数（一般病床のみ）

-

-

-

-

設立団体の状況

人口（人）

6,430

決算規模（千円）

13,428,564

標準財政規模（千円）

3,758,742

財政力指数

0.93

経常収支比率（％）

89.0

健全化

実質赤字比率（％）

-

連結実質赤字比率（％）

-

判断比率

実質公債費比率（％）

5.9

将来負担比率（％）

-

損益計算書（千円・％）

区分

決算額

費用収益医業収

全国平均

類似平均

総収益

2,741

1 経常収益

2,741

(1) 医業収益

-

(うち修正医業収益)

-

入院収益

-

外来収益

-

診療収入計

-

繰延運営権対価収益

-

運営権者更新投資収益

-

その他医業収益

-

(うち他会計負担金)

-

(2) 医業外収益

2,741

(うち国・都道府県補助金)

-

(うち他会計補助・負担金)

-

(うち長期前受金戻入)

-

(うち資本費繰入収益)

-

(3) 特別利益

-

(うち他会計繰入金)

-

総費用

2,741

2 経常費用

2,741

(1) 医業費用

-

職員給与費

-

-

58.7

78.7

材料費

-

-

26.9

14.5

(うち薬品費)

-

-

14.8

7.7

(うち薬品費以外の医薬材料費)

-

-

11.7

6.1

減価償却費

-

-

8.5

11.8

経費

-

-

21.5

32.3

(うち委託料)

-

-

11.5

15.3

研究研修費

-

資産減耗費

-

(2) 医業外費用

2,741

(うち支払利息)

2,741

-

0.9

1.1

(3) 特別損失

-

損益

経常損益

-

純損益

-

累積欠損金

-

経常収支比率

100.0

96.5

96.4

医業収支比率

-

86.0

72.4

修正医業収支比率

-

83.2

68.2

他会計繰入金対経常収益比率

-

11.5

24.2

他会計繰入金対医業収益比率

-

13.7

34.4

他会計繰入金対総収益比率

-

11.5

24.2

実質収益対経常費用比率

100.0

85.4

73.0

貸借対照表（千円）

区分

決算額

資産合計

-

1 固定資産

-

(1) 有形固定資産

-

(2) 無形固定資産

-

(3) 投資その他の資産

-

2 流動資産

-

(1) 現金及び預金

-

(2) 未収金及び未収収益

-

(3) 貸倒引当金（）

-

(4) 貯蔵品

-

3 繰延資産

-

負債合計

-

1 固定負債

-

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

-

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

-

(6) リース債務

-

2 流動負債

-

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

-

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

-

(6) リース債務

-

(7) 一時借入金

-

(8) 未払金及び未払費用

-

(9) 前受金及び前受収益

-

3 繰延収益

-

(1) 長期前受金

-

(2) 長期前受金収益化累計額（）

-

(3) 繰延運営権対価

-

(4) 繰延運営権対価収益化累計額（）

-

(5) 運営権者更新投資

-

(6) 運営権者更新投資収益化累計額（）

-

資本合計

-

1 資本金

-

2 剰余金

-

(1) 資本金剰余金

-

(2) 利益剰余金

-

負債・資本合計

-

不良債務

-

実質資金不足額

-

資本不足額（繰延収益控除後）（）

-

備考

他会計からの繰入状況（千円）

区分

基準額

実繰入額

収益勘定繰入

-

-

資本勘定繰入

-

-

計

-

-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度

不良債務額（千円）

不良債務比率（％）

令和5年度

-

-

令和4年度

-

-

令和3年度

-

-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（％）

-

健全化法上の資金不足額（千円）

-

健全化法上の資金不足比率（％）

-

地財法上の資金不足額（千円）

-

地財法上の資金不足比率（％）

-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		南三陸町			
病院名		南三陸病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,554㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨感輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	40	80.4	78.4	80.2	
療養	50	84.7	81.1	86.3	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	90	82.8	79.9	83.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		22.4	22.9	17.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				4,360,177	
1 固定資産				3,733,949	
(1) 有形固定資産				3,627,539	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				106,410	
2 流動資産				626,228	
(1) 現金及び預金				416,215	
(2) 未収金及び未収収益				205,554	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				4,299	
3 繰延資産				-	
負債合計				4,317,037	
1 固定負債				254,286	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				86,548	
(2) その他の企業債				167,738	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				261,042	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				50,109	
(2) その他の企業債				32,297	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				178,636	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				3,801,709	
(1) 長期前受金				5,962,598	
(2) 長期前受金収益化累計額()				2,160,889	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				43,140	
1 資本金				865,167	
2 剰余金				-822,027	
(1) 資本剰余金				27,750	
(2) 利益剰余金				-849,777	
負債・資本合計				4,360,177	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	340,000	340,000
資本勘定繰入	14,996	62,080
計	354,996	402,080

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:	「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
-----	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		黒川地域行政事務組合			
病院名		公立黒川病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	10,029㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	110	67.6	63.1	66.2
療養	60	72.6	71.3	71.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	69.4	66.0	68.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	15.4	14.7

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		3,293,498		
1 固定資産		3,197,405		
(1) 有形固定資産		2,905,905		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		291,500		
2 流動資産		96,093		
(1) 現金及び預金		48,941		
(2) 未収金及び未収収益		20,652		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		1,570,553		
1 固定負債		788,755		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		470,929		
(2) その他の企業債		220,786		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		70,714		
(5) 引当金		26,326		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		326,669		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		283,051		
(2) その他の企業債		20,071		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		6,429		
(5) 引当金		8,677		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		8,441		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		455,129		
(1) 長期前受金		888,677		
(2) 長期前受金収益化累計額()		433,548		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		1,722,945		
1 資本金		6,308,320		
2 剰余金		-4,585,375		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-4,585,375		
負債・資本合計		3,293,498		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,756	157,303
資本勘定繰入	195,270	289,806
計	336,026	447,109

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45853.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	168,311
地財法上の資金不足比率(%)	1683.1

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		加美郡保健医療福祉行政事務組合			
病院名		公立加美病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,804㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	40	69.5	65.1	77.4	
療養	50	69.5	81.7	81.3	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	90	69.5	74.4	79.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	15.3	22.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				1,969,113	
1 固定資産				1,552,566	
(1) 有形固定資産				1,552,127	
(2) 無形固定資産				439	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				416,547	
(1) 現金及び預金				285,776	
(2) 未収金及び未収収益				121,686	
(3) 貸倒引当金()				2,458	
(4) 貯蔵品				11,543	
3 繰延資産				-	
負債合計				2,161,790	
1 固定負債				667,199	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				575,441	
(2) その他の企業債				91,758	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				378,024	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				165,865	
(2) その他の企業債				8,242	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				51,110	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				152,807	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,116,567	
(1) 長期前受金				2,720,928	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,604,361	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-192,677	
1 資本金				1,580,732	
2 剰余金				-1,773,409	
(1) 資本剰余金				95,496	
(2) 利益剰余金				-1,868,905	
負債・資本合計				1,969,113	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				192,677	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	398,072	298,168
資本勘定繰入	110,386	177,562
計	508,458	475,730

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	208.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		みやぎ県南中核病院企業団			
病院名		みやぎ県南中核病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,364㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	306	81.3	74.5	74.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	310	80.7	74.5	74.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.2	9.6

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		10,207,284		
1 固定資産		7,923,563		
(1) 有形固定資産		7,863,788		
(2) 無形固定資産		275		
(3) 投資その他の資産		59,500		
2 流動資産		2,283,721		
(1) 現金及び預金		587,749		
(2) 未収金及び未収収益		1,621,521		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		74,451		
3 繰延資産		-		
負債合計		9,661,662		
1 固定負債		5,356,696		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		5,096,474		
(2) その他の企業債		210,274		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		49,948		
2 流動負債		2,683,949		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		981,080		
(2) その他の企業債		19,911		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		296,425		
(6) リース債務		41,314		
(7) 一時借入金		200,000		
(8) 未払金及び未払費用		1,145,219		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		1,621,017		
(1) 長期前受金		2,803,250		
(2) 長期前受金収益化累計額()		1,182,233		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		545,622		
1 資本金		16,003,747		
2 剰余金		-15,458,125		
(1) 資本剰余金		79,847		
(2) 利益剰余金		-15,537,972		
負債・資本合計		10,207,284		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	959,053	867,860
資本勘定繰入	541,373	841,608
計	1,500,426	1,709,468

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	148.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。